

平成 29 年度 すこやかメールマガジン 第 547 号【評価ではなく肯定の言葉をかける】  
6 月 8 日配信

みなさんこんにちは (^\_^) /

最近、曇りや雨の日が多いですね。「6 月 6 日に雨ザーザー降ってきて♪」という絵描き歌の歌詞もありますが、この時期はお絵描きをするなどして家の中で過ごすことも少なくないと思います。

我が家でも、よく子どもたちとクレヨンや色鉛筆を使ってお絵描きをしますが、そのとき、子どもが絵に苦手意識をもたないようにするため、“安易に使わない方がいい言葉”があるのだそうです。

『ラクガキノート術』の著者で、お絵描きに関する講座も主宰しているタムラカイさんによると、「上手だね」がそのうちの一つだといいます。

子どもが絵を描くと褒めてあげたくなりますし、安易に「上手だね」という言葉をかけてしまいがちです。しかし、上手といえば下手もあるため、これは子どもの描いた絵に対する評価になってしまうのです。

一般的に絵が「上手い」というのは、いかに「対象とそっくりであるか」を指します。子どもも同じように捉えているところがあって、キャラクターの絵を自分よりそっくりに描くことができる大人に「描いて！」と頼んできたりします。

大人になると、「上手い」という価値観はそれだけではないということが何となくわかるのですが、子どもにとっては少々難しいため、「上手だね」と褒められると「次も上手に（そっくりに）描こう」と思ってしまいます。それが、次第に「上手に（そっくりに）描けなかったらどうしよう」という不安につながり、やがて絵に苦手意識をもつようになってしまうのです。

タムラさんは、子どもとお絵描きをするときに褒めるべきは「絵」ではなく「描いたこと」であり、

「〇〇ちゃんと一緒に絵を描くのは楽しいな」

「〇〇ちゃんの絵を見るのが好きだな」

など、評価ではなく肯定の言葉がけをして、子どもに「絵を描いてもいいんだ！」と思わ

せることが大事だと言っています。

また、評価でも「上手」という技術的な面が強調されたものだけでなく、「こんな風に描くなんておもしろいね」と発想面を褒めたり、「よくこうなっているってわかったね」と観察したことを褒めたりしてバリエーションをもたせるなど、ちょっとした言葉遣い・態度で、子どもがのびのびと絵を描く方向に向かってくれるといいます。

私も、これからは肯定の言葉がけを意識しながら、子どもたちとのお絵描きタイムを楽しみたいと思っています。【M】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^\_^))

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」  
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

#### 【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」  
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

#### 【紹介からの登録手順】

アドレス [kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp) をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^\_^)/

\*\*\*\*\*

#### 【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索